

防災林整備研究会

- 1 日時：平成20年9月17日（水）～18日（木）
- 2 場所：茨城県つくば市 森林総合研究所（会議）
茨城県石岡市 森林総合研究所筑波共同試験地（現地検討会）
- 3 出席者：茨城県、栃木県、千葉県、富山県、山梨県、長野県、静岡県、愛知県、（独）森林総合研究所（9機関、20名）

4 会議

1) 研究紹介・事例報告

以下の内容の研究紹介・事例報告及び質疑・意見交換を行った。

- ①海岸防災林の抱える問題と維持管理の考え方（森林総研 坂本知己）
- ②都市近郊林の水質保全機能が危ない？・・・窒素飽和とは（森林総研 吉永秀一郎）
- ③クロマツ海岸林と水稻の潮風害の関係（富山県 相浦英治）
- ④菌根菌資材を活用した海岸防災林におけるクロマツ苗木の活着促進（静岡県 渡井純）
- ⑤海岸防災林における広葉樹活用の可能性（同上）
- ⑥2007年台風9号による長野県内の風倒被害（長野県 山内仁人）

2) 今後の運営方針・その他

今後、研究会でどのような課題を取り上げていくか、等の運営方針について協議を行った。

防災林整備と森林の防災機能の維持向上に関する研究発表、討議、情報交換等を行っていくこととし、次年度の開催は、栃木県の予定とした。

5 現地検討会

森林総合研究所筑波共同試験地で行っている、森林水文、窒素循環、森林風害等の観測研究について現地で担当者から説明を受け、意見交換を行った。



現地検討会写真